

●番号案内掲示板の起動時に「WindowsによってPCが保護されました」と表示される件について およびSilentPlayerKKTも同様のことが起こることについて その他

このような事が起こることを知ってはいましたが、本ソフトでも起きていた事を最近になって認識しました。というのもプログラム作成の過程でVisual Studio でビルドし実行してもこのような事は起こりませんでした。また、Vectorから検証のためダウンロードしたzipファイルを日頃から使っているLhaForgeで解凍して実行した際も、このような事は起こっていなかったためです。そこで調べてみたところ、以下の理由だと知りました。

ダウンロードしたアプリやファイルを使用する際に、「WindowsによってPCが保護されました」と表示されることがあります。

これは、パソコンに**危害を及ぼす可能性**がある場合に、パソコンを保護するために表示される画面です。安全なアプリやファイルでも、**発行元が不明な場合や、ダウンロードされた実績が少ない場合**に表示されることがあります。（NEC LAVIE公式サイトQ&Aより引用）

また、「アプリやファイルの**安全性が確認できる場合**に「実行」をクリックします。」との記載もあります。

私は悪意のあるプログラムを作っていないし、簡易なものですがアップロード前にWindows defenderでウイルスチェックを行っています。

Vectorが行うチェックについても『Vector』のウイルスチェック体制”として公開されております。

ただ私は**悪意のないソフト**であることの**証拠を提示することができません**。

またウイルスやマルウェアに関わらず、**本ソフトの使用により間接的に起こることを含め危害**を生じる可能性について**“決していない”とも言いきれません**。

”使用は**不適切**”と判断された場合は警告画面の「**実行しない**」ボタンを選択し、**削除**してください。

そうでない場合は、以下の手順を参考としてご覧になってみてください。

●zipファイルの解凍方法によって警告の有無に違いがあったので参考として記します。（原因は不明）

【参考1】 Windowsの操作の右クリックからKenKenTyuPLUS260M2.zipファイルを解凍した場合 ※1

※1 以下は、あくまでも私の場合の一例であって全ての場合で同様になるとは限りません。

zipファイルを右クリックし”すべて展開”から解凍した後にKenKenTyuPLUS260M.exeを実行すると図1の警告がでました。（その前にスキャンが必要だと表示される場合があるかもしれません。）

図1の赤矢印部分”詳細情報”をクリックすると図2の警告に変わり、アプリの名称と発行元が表示されます。自作ソフトのほとんどは不明な発行元だと思います。この情報で安全性が確認できるはずもありますが、それを理解したうえで実行する場合は図2の実行ボタンを押します。これで本ソフトが起動します。

図1

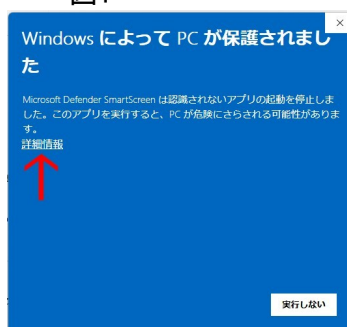
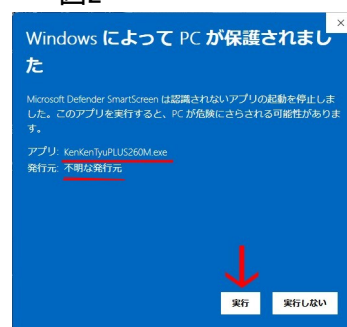


図2

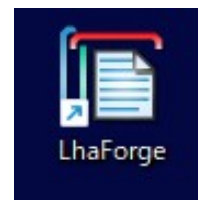


・SilentPlayerKKTも上記と同様に警告が出ると考えられます。（Ver.260R以降）同様の操作を行えば起動します。

【参考2】 解凍ソフトLhaForge Ver.1.6.7で解凍した場合 ※1

※1 以下は、あくまでも私の場合の一例であって、全ての場合で結果が同様になるとは限りません。

私は普段 zipファイルを解凍するのにLhaForge Ver.1.6.7を使っています。Vectorから検証のためダウンロードした本ソフトのzipファイルもこのソフトを使っていました。LhaForge を使った場合、なぜか図1のような警告画面は出ませんでしたし、正常に起動していました。（他の解凍ソフトを使った場合についてはわかりません。）



LhaForgeを使って解凍しても図1の警告が出た場合の対処は前述の＜参考1＞と同様です。

【その他、ウイルスと判定され削除される場合について】 ※1

※1 以下は、あくまでも私の場合の一例であって、全ての場合で結果が同様になるとは限りません。

警告がでることを検証するため 繰り返し警告を表示させていたら、Windows defenderにウイルスと判断されファイルを削除されるようになってしまいました。

仕方なくWindows defenderの設定で対象から除外するようにしたので、当然削除はされなくなりました。検証を終え、その後に除外の設定を解除したところウイルスとは判断されず削除もされませんでした。プログラムの同じファイルなのに結果が異なる理由は不明です。

ウイルスの誤判定につて調べると、Windowsのシステムファイル変更やレジストリーの変更、ファイルの書き込みなどを行うと誤判定をする場合があることが分かったので、それに近いことは出来るだけプログラムから削除することにしました。(Ver.260R以降)

- ・モニターの常時電源ONとスリープへの移行抑制をプログラムから行っていましたが中止しました。
- ・SilentPlayerKKTを完全な外部ソフトにして、番号案内掲示板ソフト内部から起動しないようにしました。
- ・SilentPlayerKKTのプログラムからOSのスリープの検知とOS復帰後の再生試行を削除しました。同封はしています。
- ・スライドショーのscrTyu015の使用を中止にし、同封も中止しました。
- ・WebView2ランタイムのインストールの有無をチェックする自作ソフトWebView2_Runtime_Checker.exeの同封を中止しました。

このことで改善することを望みます。